

【国際交流】 理学療法学科 3 年生 8 名がドイツ研修に行ってきました

平成 27 年 9 月 15 日から 26 日の 12 日間、理学療法学科 3 年生 8 名が、例年同様ドイツ・フレゼニウス大学での研修に行ってきました。

フレゼニウス大学は、ドイツ各所にキャンパスがある大学で、今回は主にフランクフルト、ミュンヘンのキャンパスを中心に訪問研修を実施しました。その他イトシュタインキャンパスにも訪問し、様々な地でのドイツの理学療法事情を実地に学び、学生の家ホームステイするなど、学習面でも交流面でも意義深いものとなりました。今年も「よく学びよく遊ぶ」スタイルで研修を満喫してきました。

講義体験に加え、マインツにおけるプロサッカーチームのクラブハウス見学や施設見学、解剖実習、ヘッセン州のオリンピックトレーニングセンターの見学、日本にはほとんどない理学療法士が開業しているクリニックの見学等、様々な施設見学で刺激を受けました。

また”Clinical Reasoning”をテーマに、日独の学生が混合のグループワークを実施し、与えられたテーマに対して理学療法臨床思考過程についてディスカッションしながら共同発表をしました。同じ理学療法を学ぶ学生であっても、国によって着眼点や思考のスタイルが違うことを実感できたのは、大きな発見でした。また英語を介して、専門用語を日本語とドイツ語で教え合う場面も存在し、お互いの交友を深めているのが印象的でした。

来年 2 月には、今回我々を迎えてくれたフレゼニウス大学の学生たちが高崎に研修に訪れます。再会を今から心待ちにするとともに、来日研修も実りあるものにしていきたいと考えています。

高崎健康福祉大学とフレゼニウス大学は、今後とも交流を発展させていきます。

※本研修は、日本学生支援機構の留学生支援制度(短期派遣)に採択され、奨学金を得て実施されました。



クリニック見学



グループワーク風景



マインツクラブハウス見学